

東海北陸地協
看護学生
ゼミナール
(地協DANS)

能登半島地震への
支援から、
一人ひとりに
寄り添う看護を学ぶ

8月8日～9日に石川県にて、第20回東海北陸地協看護学生ゼミナール(地協DANS)が開催されました。参加は学生22名、職員42名でした。愛知からは学生10名と職員3名が参加しました。

今年の地協DANSのテーマは、「能登半島地震から2年半、いのちの大切さを感じ支援継続の意味を考える」でした。1日目は学習講演が行われ、全日本民医連副会長の川上さん(熊本民医連・芳和会看護部長)と石川健康友の会の杉本さんからの話を聞き、グループワークを行いました。そして、2日目には輪島の仮設住宅を訪問し、被災した方々と交流しました。以下、参加した学生の感想を紹介します。

柘植 美里さん

岐阜保健大学4年

名南会看護奨学生



講義で学んだ「人間復興」の
意味を被災地で理解

今回の合宿では、能登半島地震から2年半が経った被災地を実際に訪れ、現地



愛知から参加した看護学生

の現状や被災者の方々の思いを学びました。

テレビや新聞で見ていた被災地とは異なり、使えなくなったトイレや沈んだ電柱、仮設住宅が今も残る様子を目の当たりにし、震災をより身近なものとして感じました。

仮設住宅訪問では、熱中症予防について紙芝居でお話しし、その後、住民の方から避難生活や仮設住宅での暮らしについて話を伺いました。

被災した時には防災グッズを十分に備えておらずとても困ったことや、現在はカラオケや卓球などの集いを通して交流が続いていることが印象に残りました。

また、能登全体で人口が約1万人減少している現状を知り、災害後の生活再建には長い時間が必要であることを実感しました。

した。

今回、このような貴重な経験をさせていただいたことで、講義で学んだ「生活再建とは建物の復旧ではなく、人間復興である」という言葉の意味を、実際の被災地を訪れたことでより深く理解することができました。

長場 小桃さん

愛知黎明高等学校5年生
尾張健友会看護奨学生



二コースだけでは
知りえなかった当時の
状況や被災者の思い

今回、DANSに参加し、災害から2年が経った今も、住み慣れた地域を離れて生活している方が多くいることを知りました。実際に被災地を訪れ、被災された方や現地で支援を続けている方のお話を聞くことで、ニュースだけでは知ることのできなかった当時の状況や、現在も続く被災者の方々の思いを知ることができました。

また、SGDでは学生や看護師の方々と意見を交わし、自分だけでは気づけなかった考えに触れることができました。

今回の研修を通して、一人ひとりに異なる思いや生活があることを改めて実感しました。今回学んだことを生かし、患者さんの思いを尊重し、一人ひとりに寄り添うことができる看護師を目指していきたいです。

「医療の現場」を見て、触れて、考える

夏の
高校生・受験生
1日医師体験

白衣に袖を通し、
少し緊張した表情で病院の中へ――

この夏、医師をめざす高校生・受験生が、北病院、名南病院、千秋病院で「1日医師体験」に参加しました。

3病院で109人参加
秋にも追加開催へ

名南病院では5日間で38名、北病院では5日間(8回の開催)で30名、千秋病院では5日間で41名が参加例年にも増して多くの申し込みが寄せられ、大変好評となったことから、秋にも追加で開催していくことになりました。

縫合、エコー、各科見学など、たくさん体験と医師・医学生との交流

体験は、ただ病院を見学するだけではなく、縫合やエコーなどを実験し、手術室や検査科、放射線科、薬局、リハビリ室などを見学。北病院では小児科外来、デイケア、リハビリ、放射線科、検査



北病院 検査室



名南病院 腹腔鏡手術の器具見学



千秋病院 バイタル測定の様子



千秋病院 手術室見学



北病院 医師・医学生と懇談

思いが強まった「自分がどんな医者になるかちゃんと考えようと思った」との声も。教科書では分からない医療の姿に出会い、将来の医師像を考える大切な一歩となりました。

自らの将来の
医師像考える一歩に

参加者の感想からは、医師以外の仕事への気付きも寄せられました。リハビリでは患者さんの状態や生活に合わせて支援する姿に触れ、検査科では、検査が診断や治療を支えていることを学びました。医療が多岐の職種の特長と連携によって成り立っていることを、現場から感じ取っていました。

「医者になりたいという



キラリと輝く
猫生をおくってね

我が家には3匹の保護猫がいます。今日はきーちゃんの紹介をします。

これからの彼女の猫生がキラリと輝くようにときらりと名前をつけきーちゃんと呼んでいます。

ツンデレさんのきまぐれさんなので、いつもくっついてくる訳ではないですが、私が疲れた時や落ちこんでいる時にはそっとそばにいてくれます。フワフワでやわらかくて私のこころの癒しになっています。

気が付けば一緒に暮らして13年もたちます。

まだまだ一緒にいられるように元気でいてほしいなと思っています。

岩倉介護保険サービスセンター

介護支援専門員 寺本 美穂



第34回 愛知民医連新聞

新年号 写真コンテスト

撮影機材は問いません。お気軽にご応募ください♪
スマホでも、コンパクトカメラでも、一眼レフでもOK!

テーマ 「私のベストショット」

応募資格 愛知民医連内の各法人職員(パート職員も可)

作品形式 1枚目の1点(組写真不可)。

※カラー・白黒は問いません。

※プリント作品: サイズ不問です。ご郵送ください。

※データ応募: 10MB以内。 A4版普通紙・カラー印刷にて選考。

応募方法 以下の内容を添付しご応募ください(すべてお答えください)

①作品のタイトル、②所属法人、③職場名、④職種、⑤氏名(ふりがな)、⑥来年の当チラシに写真使用の可・不可、⑦郵送の場合は作品返却の要・否

◇郵送応募: 〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町 9-3

労働会館本館3階 愛知民医連・新年号写真コンテスト係

◇メール応募: aichiminiren@aichiminiren.jp

愛知民医連事務局・新年号写真コンテスト係

◇QRコードから応募(Googleアカウント使用)

締め切り 2026年11月27日(金)必着

入賞 図書カード進呈

金賞5千円、銀賞3千円、銅賞2千円、入選1千円



命守る医療制度を後退させない、 無料低額診療の拡充など訴え

2025年経済的事由による手遅れ死亡事例調査記者発表

愛知では死亡事例が2件

8月31日、愛知民医連は「2025年経済的事由による手遅れ死亡事例調査」について記者発表を実施しました。マスコミ5社が参



記者発表の様子

加・取材いただき、中日新聞、読売新聞、しんぶん赤旗が報道しました。
6月24日に全日本民医連が先駆けて行った記者発表資料も交え、愛知民医連として県内事例の記者発表を行うことで、たとえ病气やけがで働けなくなることがあっても、一人でも多くの人が医療にアクセスできるよう発信しました。

働いていても自己負担分を払えず治療中断するケースが増えている

堀井会長は冒頭あいさつで、「愛知県内の民医連7つの法人は『無差別・平等の医療と福祉の実現』を基本理念に掲げて活動しています。7法人中2つの医療法人で無料低額診療事業を行っており、9月より呼続はみんぐ歯科が無料低額診療事業を開始しました。

全国の民医連でも取り組まれており、中でも大阪が行った無料低額診療事業の検証結果では利用2000事例のうち2割が社会保障加入者となり増加しています。基本給が低いことや、歩合給で生活が成り立たないなど、働いていても自己負担分が支払えないとの報告がありました。愛知県では手遅れ死亡が2事例ありました」と紹介しました。

コロナ禍で収入減く未受診となり、息苦しさで受診されるが手遅れに

2事例のうち1事例を名南病院・連携室の外山早紀さん(MSW)



報告する外山さん

が報告しました。

事例は、甲状腺の持病がある50代女性はコロナ禍で夫の収入減により支出が収入を上回るようになり、通院時の支払いが毎回2〜3万円発生、医療費捻出ができず未受診となりました。その後息苦しさを主訴に無低診相談のため名南病院を受診、甲状腺肥大により他院へ搬送するも3か月後に死去された、という

もの。治療の中断がなければ症状悪化に至らなかった可能性もあり、無低診制度がまだ周知されていない現状がありますと報告しました。

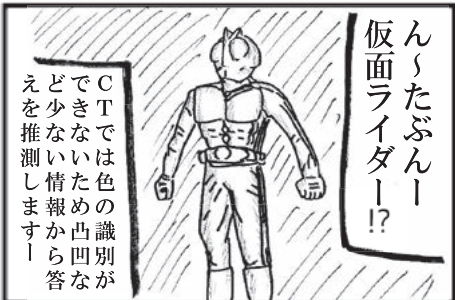
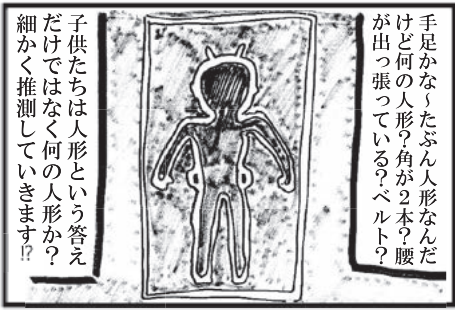
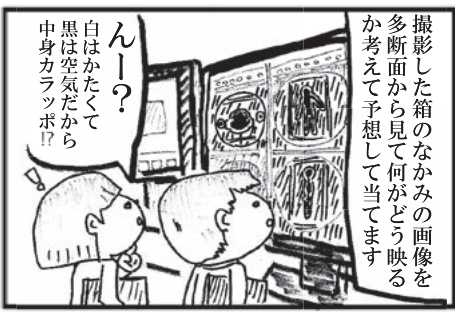
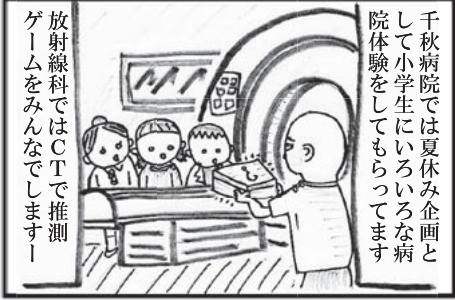


右上：中日新聞
右：しんぶん赤旗
左：読売新聞

6つの改善要望と 愛知県への要望

- 武田事務局長は事例調査を受けて、以下の6つの改善要望を求めました。
1. 医療費の窓口一部負担金、高額療養費制度の改善を求めます。
 2. OTC類似薬の薬剤費の自己負担増(一部保険外療養)創設中止を求めます。
 3. 権利としての生活保護制度の改善を求めます。
 4. 国民健康保険制度の改善を求めます。
 5. 雇用条件の改善、最低年金保障の保障や物価高騰対策や消費税負担など、全世代の生活困窮者への対策を求めます。
 6. 無料低額診療事業の実施を広げ、活用を促進することです。

モリさん日記 箱のなかみはなんだろう？②



作・森 賢洋
(千秋病院 放射線技師)

第56回 学術運動交流集会のご案内

今年の会場は名古屋駅すぐの「ウインクあいち (愛知県産業労働センター)」です。

- 日時：2026年11月23日(月・祝)
9時30分 受付開始
午前10時開会 午後3時半頃終了予定
■会場：全体会(午前) ウインクあいち 大ホール
分科会(午後) ウインクあいち 11階
(午前) 記念講演
講 師：立花義裕さん
(三重大学大学院 生物資源学研究科教授)
講演テーマ：「異常気象の未来予測」(仮題)
(午後) 分科会



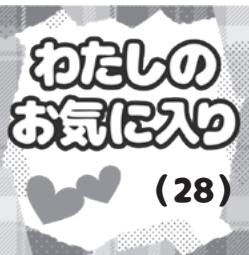
- 【分科会の演題募集】
●分科会構成を検討するため、演題カテゴリを1つ選択して、愛知民医連ホームページより申し込んで下さい。
①臨床報告、②医療介護の安全、倫理、③看護活動、④介護活動、⑤医療介護等の連携、慢性疾患療養援助、⑥業務改善、経営改善、報酬改定対応など、⑦社会保障活動、貧困と格差問題、SDH、⑧脱原発・被ばく問題、災害支援、⑨職員募集活動、職員教育、後継者養成など、⑩健診、HPH、⑪地域包括ケア、介護予防・日常生活支援総合事業の対応、⑫憲法・平和、まちづくり、⑬感染症(新型コロナウイルス、インフルエンザなど)、⑭その他
●申込期間は8月28日(金)～9月30日(水) 24:00まで(厳守)
●演題発表はパワーポイント使用で行って下さい。
(事前に法人担当者にデータを提出)



私のお気に入り入りはキャンプです。自然の中で焚き火を眺めながら、美味



北医療生協
看護師求人・
看護学生対策担当
長谷川 綾乃



しいご飯とお酒を楽しむ時間が大好きです。最近行った「FOLK WOOD VILLAGE ハケ岳」は、夏でも涼しく快適で、暑い時期のキャンプにぴったりでした。中でもお気に入り入りは、自然に囲まれながら楽しめるサウナです。たっぶり汗をかいた後、ハケ岳の涼しい風を感じながらの外気浴は最高でした。美味しいものを食べて飲んで、焚き火を囲んでのんびり。何度でも行きたくなるお気に入りの場所です。

研修医日記

一つひとつの経験を大切に、成長していきたいと思います

協立総合病院2年目研修医の小澤涼です。早いもので、研修医として働き始めてから1年半が経とうとしています。これ

まで様々な診療科をローテートし、多くの患者さんと関わる中で、少しずつ仕事にも慣れ、自分で考えて行動できる場面も

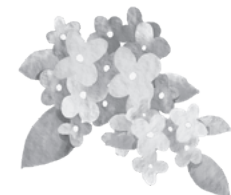
増えてきました。一方で、まだまだ判断に迷うことや難しい場面も多く、そのたびに上級医の先生方をはじめ、様々なスタッフの方々に支えていただいていることを実感しています。

4月からは後輩の研修医も加わり、自分が教える立場になる機会も増えてきました。昨年は振り返ると、当時の2年目の先輩方には、診療のことから日々の業務まで本当に多くのことを教えていただきました。頼りになる先輩方の姿を思い出

も近づかなければという責任を感じています。今後は約半年間、外病院での研修が続きます。当院の研修医として病院の看板を背負っているという意識を持ち、これまでご指導いただいた先生方や先輩方に恥じないよう、一つひとつの経験を大切にしながら成長していきたいと思っています。



協立総合病院 2年目研修医 小澤 涼



連載 103

病気で限られた時間のなかで、なにを大事に支援するかー

末期、看取り目的で転院して来られたAさん

肺腺癌末期で全身転移あり、予後1か月の診断で70代・AさんがB・S・C方針、看取り目的で急性期病院から転院してきまし

た。当院へ転院希望あった理由が最期に妻に会いたいからという理由でした。実は転院相談時点で妻は

Aさんによる在宅介護で今まで生活しており、Aさんの体の痛みによる検査受診をするためのレスパイトとして当院へ入院していました。妻が入院できたことでAさんが今まで我慢していた症状に対して受診したところ、今回の病気が見つかり、治療効果も得られない状態になったというのです。

先々、奥さんへの補助が必要になると予見して

妻はADL全介助、構音障害から発語も困難ですがこちらの発言は理解でき、頷きは可能な方です。子どもがいないため、Aさんの死後は妻の意思

決定や金銭管理などの補助が必要になることが予想されました。今まではAさんが管理していたため、Aさんが病状悪化する前に妻の支援で必要な情報を聞き出す必要がありました。転院日からAさんへ妻の口座の暗証番号を聞き出し、予算の合う施設を探していく事になると説明しました。翌日、Aさんに代わって身の回りの支援を頼める人を確認、頼れる親族もおらず最終的には家族代行のNPOの利用を希望されました。

Aさん自身への聞き取りは

ほとんどできずに

北病院地域連携室

戸田 健志

クロスを解いてA～Fに入る文字を順にならべてできた言葉をこたえてね

Answer: A B C D E F

1	2			3	4	5
6			7			C
8		9			D	
		10				11
	12		B		13	
14		E			15	
16				17		A

(出題 北メンタルクリニック事務 幅しのぶ)

クロスワード

【たての力ギ】

1 9月の第3月曜日はなんの日？

2 映画やTV番組などのテーマソング

3 拍子、テンポ

4 虫や魚を捕るのにも使う

5 そのまま全部覚えること

6 決まった日時、ルート

7 で継続的に運行されるもの

8 ドレミの歌でドは何？

9 珍しい出来事

1 日光で有名な滝といえば

2 首都はダマスカス、〇〇・アラブ共和国

3 状態をそのまま保つこと、現状〇〇

4 化粧品、アイブロウ

5 オランダの2番目に人口が多い都市

6 目にもとまらぬ早さで刀を抜いて切つて、納める

7 余ったタンドリーチキンを煮込んだのがはじまりとか

8 給料などの支払時、あらかじめ差し引くこと

9 高遠城址、ローメン、ソースカツ丼といえ

ば【よこの力ギ】

【クロスワード当選者】

8月号、正解は「海水浴(かいすいよく)」。応募総数31通で正解は30通でした。次の方々が当選されました。

・野垣 なみさん (岩倉介護保険S・Cちあき)

・真柄 久美代さん (老健かたらいの里)

・尾藤 雅彦さん (千秋病院)

〈応募要項〉

あて先は、〒456-0006 名古屋市中熱田区沢下町9-3 愛知民医連宛。

①こたえ、②事業所名、③

QRコードをスマホなどで読むと応募フォームから投稿できます。



https://goo.gl/k5hZMy



防災の備え

北病院

管理栄養士 柴田 佳代子

最近では地震や豪雨で、災害が続いています。自分ごととして、備えをさらに充実させていかねばと考えています。

絵日記

協立総合病院

看護師 木道 由季亜

小学生の娘のはじめての夏休み。ママが毎日水やりをしました。絵日記だけは自分で育てたかのように上手に描いてました。

楽しませてもらいました

名南ふれあい病院

事務 土川 めぐみ

感銘を受けました
名南診療所
医師 大森 久紀
無言館館長の窪島誠一郎さんの講演を聞きました。彼はがんが全身に転移して治療中で、余命が年内持つかどうかということ

ど真ん中祭りで演舞後の踊り子さんへの給水サービスをお手伝いしてました。暑い中、踊りきった踊り子さん達で給水所は活気と笑顔で溢れ、こちらまで楽しませていただきました！



16 アラジンではランプから出てくる？

17 ズボン？ ショーツ？

職種、④氏名、⑤近況や紙面の感想、を記入し、ハガキ・FAX・電子メールでご応募ください。QRコードも可。ペンネームや事業所名・職種不記載は抽選の対象外です。パート・臨時職員もご応募いただけます。正解者の中から抽選で3人の方に図書カード進呈。

近況や感想が「読者のひろば」に掲載された方も当選者の半額分の図書カードを進呈します。9月号クロスワードパズルの応募締め切りは10月4日です。

理事会報告

☆理事会学習「認知症実践ハンドブック」改訂版の学習会を開催し、オンラインでの参加も多くなりました。ハンドブックの作成の経緯や目的、新たな認知症観、ケアの倫理、新薬のレカネマブ、身体拘束最小化など、医療と介護の連携の重要性など多方面からの講演で大いに学びました。

☆8月22日に第1回評議員会が開催されました。これからの半年の運動と取り組みは、平和憲法を守ること、社会保障を守ること、人権、くらしを守るうえで一体のものとして進めることを確認しました。

☆評議員会の中で、原水禁世界大会での日本女医会の前田圭子会長の挨拶が紹介されました。「核兵器の被害に医療は機能しません。核戦争を予防し、核兵器を使用させない、なくすことが重要。平和は最大の公衆衛生、戦争は最大の健康被害で究極の暴力。軍拡ではなく対話」が印象的でした。

☆愛知民医連第56回学術運動交流集会の抄録募集が8月28日から開始されます。日頃の医療介護活動の実践を交流するとても良い機会となります。各職場からの積極的な抄録登録をお願いします。また、記念講演は、最近の異常気象、災害が多発している時期にマッチした内容となりますので、共同組織、組合員さんにも呼び掛けご参加いただけますようお願いいたします。

【8月28日第2回理事会】
県連事務局長 武田 修三